

# 荒川区

地域包括ケアシステム  
の構築にむけて

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

・区では、精神障害者が地域で自立した社会生活及び日常生活が送られるよう、精神科医療機関や障害福祉サービス事業所等、地域の関係者と連携が図れるよう、顔の見える関係づくりとしてネットワーク会議を定期開催し、年1回の精神保健福祉連絡協議会で、現状の確認をしている。部分的な動きはできていると考えているので、地域ケアシステムという認識で関係者が動けるよう、協議の場づくりから取り組んでいく。

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

・「精神保健医療福祉の改革ビジョン」に示された、“入院医療中心から地域生活中心”という政策理念に基づく施策をより強力に推進し、精神障害者の一層の地域移行を地域において具体的な政策手段により実現していくため、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」という新たな政策理念が明記されました。

・これを受けて、地域ケアシステムを考えていくため、自立支援協議会の部会である地域移行部会では、30年度の東京都の圏域研修を部会として参加し、地域移行を進めていくためのシステムの必要性とその課題を学んだところである。

また29年度より始めた、長期入院者のいる病院へのニーズ調査を、30年度は地域を変えて実施しており、そこでの聞き取りから、継続的な関係性の必要など新たな課題を見つけている。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

地域移行の取り組みとして、長期入院している方の病院訪問を行い、ニーズ調査を始めていること始めていること

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
		行政	障害者福祉課
地域ケアシステムを考える、協議の場としての、位置づけの会議がまだないこと	既存の会議体の方向性を考えたうえで、協議の場をどこにするのかを検討	医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	
		行政	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	
		行政	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
①協議の場が決まること			
②			
③			

## 6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R1年5月	協議体について検討	既存の会議を、地域ケアシステムを考える協議体として、組み替えていくのか、または新たに作った場合に、既存の会議体との関係性をどうしていくのかを、検討する。 自立支援協議会の地域移行部会が、現在一番近い会議となっているので、発展させた形でできるかを検討する。